



緑小だより

<http://members2jcom.home.ne.jp/midorisho-sumida/>

平成29年9月1日
墨田区立緑小学校
校長 水谷 光一

信頼を得るには

副校長 佐藤 公信

夏休みが終わりました。東京地方は40年ぶりの長雨もありましたが、皆様、いかがお過ごしだったでしょうか。

本校では夏休みに入ってから、トイレ改修、外壁塗装工事、体育館の工事と大規模改修工事が始まりました。工事を請け負う職人さんは、炎天下、また暑い校内で黙々と一生懸命に仕事をしてくれました。仕事の様子を見てみると、日本人の技術の高さがよく分かりました。

そんな毎日の工事の中で気が付いたことがあります。私は、作業中の職人の方々が一所懸命に仕事をされているのを見かけると、「こんにちは」とか、「暑い中、お疲れ様です」と自然に声が出ました。職人さんも初めのうちは戸惑っていたようですが、慣れてくると向こうからも元気な声が聞かれるようになりました。挨拶が日に日に深まっていく様子は、本当にうれしく思いました。

もう一つ、驚いたことがあります。職人さんには、1年生用のトイレを使ってもらっていました。トイレ用のサンダルが用意してあり、靴を脱いで履き替えて中に入ります。感心するのは、一日の終わりには、サンダルがきちんと揃えて置いてあるのです。また、管理員からの報告では、工事した後をきちんと掃除して帰って行くというのです。

その様子を見てみると、「使わせていただき、ありがとうございます。」という気持ちが、言葉で言われるよりも何倍も強く伝わってきました。簡単なようですが、なかなかできないことです。このことで、この会社はどれだけ大きな信頼と信用を得たのであろうか。計り知れない効果であると思います

子供たちにも、自分で使ったものはきちんと片付ける（特に人様の家や場所をお借りしている場合）。この当たり前のことを当たり前にすること、小さなことが、やがて大きな信頼に繋がっていくことを、繰り返し繰り返し伝えていきたいと思ひます。

さて、夏休みが終わり、工事計画通り進みました。もう少しで、工事完了します。

工事期間中は、今年は、水泳指導、サマースクールなどの活動ができず、子どもたちにはかわいそうな事をしました。また各ご家庭、地域の皆様には学校施設の開放の制限、校内立ち入りの制限と、多大なご協力をいただきました。おかげさまで、工事が順調に進み、一部のトイレが完成、外壁もきれいになりました。この生まれ変わった学校を、これから何年も使っていくことを考え、大切にきれいに使っていくように声かけしていきます。

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

音楽室から

音楽専科 柳 郁子

今年は、11月17日（金）、18日（土）に音楽会が予定されています。音楽の授業では、夏休み前から合奏の準備を始めています。やってみたい楽器を自分で選び、オーディションに挑戦しました。20分休み、お昼休みも一生懸命練習に取り組む子供たちの姿が多く見られました。「先生、ここまでできるようになりました。」とても嬉しそうに目を輝かせて話してくれます。緑小の子供たちは、合奏が大好きです。

9月からは、さらに、リズム・音程に気を付けながら、少しずつ練習範囲を広げていこうと思います。“継続は力なり”自分の思いを音で表現して、学年で心を合わせ、思い出に残る演奏になるように、支援していきたいと思ひます。

そして、子供たちに、音楽の楽しさを伝え、幸せを感じてほしいと願っています。

理科好きな子供を育てる

担当 樋口 努

自分が高校へ進学するときに興味があったのは理系の科目だったのに文系、周りに文系が多いから、進学しやすそうだからという理由で文系を選んだことを覚えています。将来の進学や仕事を考えたときに、選択肢を増やしておくことは子供たちにとって、大切なことです。変化が早く、予測が難しい未来を生き抜くために、物事を主体的に考え、自ら問題を解決していく力を付けていくことは、理科の学習はぴったりではないでしょうか。

夏休みと言えば自由研究がよく宿題として出ます。この頃、自由研究セットが販売されているのを目にすることが多いです。昔よく作ったピカピカに光る泥団子から自宅ではなかなか難しい人工イクラなど品揃えが幅広いです。「理科好き」には、直接つながらないかもしれませんが、興味をもつ機会が増えています。

学校でも身の回りのことから、科学的なものの見方、考え方を養うために実験・観察を多く取り入れ授業を計画しています。理科好きな子供は多いです。そこから、本格的に理科を勉強したいと考えることのできる子供に寄り添い、アドバイスできる大人もたくさんいます。大人の理科好きも学校では募集中です。一緒に理科好きの子供を増やしましょう。連絡待っています。

5年生の様子

5年学年主任 上口 絵里奈

7月3日(月)～5日(水)の3日間、5年生は栃木県の栗野へ移動教室に行ってきました。初めての移動教室にワクワク半分、不安半分といった様子でしたが、帰りのバスの中で「もうちょっといたかったな。」と声があがるほど、楽しい思い出がたくさんできたようでした。

栗野移動教室でのめあての一つは「自然と親しむこと」。川原でますつかみをしたり、山道や湿原をハイキングしたりと、たくさんの自然と触れ合うことができました。もう一つのめあては「自主性・協調性・社会性を身に付けること」。時計を見て5分前行動をすること、話をする人の方に体を向けよく聞くこと、自分のことだけでなく周りにも目を向けて行動すること・・・一日目にはできなかったことも二日目にはできるようになる、日を追うごとに自分たちでできることが増えていく子供たちを見て、とても成長を感じる三日間でした。この栗野移動教室で学んだことを糧として、また一步一步、高学年として成長してくれることを願っています。

敬老の日(こころのバリアフリーを考える) 指導教諭 池田 満

緑小の教育活動の特色の一つに「ふれあい給食」があります。地域の高齢者の方々に給食にお招きする行事です。会食のときには、昔の遊びや勉強、緑の町の移り変わりのようす等々の話を伺うのによい機会です。子供たちも目を輝かせて聞いています。そんな様子を見ながら、いつも考えることがあります。それは、今の自分がいるのは、父母、そして祖父母、祖祖父母・・・命のつながりへの感謝の気持ちと先人たちの築き上げてきた文明のすごさです。

さて、「敬老の日」を改めて考えてみましょう。意味を調べてみると、長きに渡り社会に貢献してきた老人を敬愛し、長寿を祝うとともに、若年者が高齢者の福祉に関心を深める機会になると願いが込められた国民の祝日とあります。しかも、「敬老の日」は世界でも日本だけです。また、私たちの身近なところにも多くの高齢者の方々がいらっしゃいます。実際にどのようにお祝いをしているのでしょうか。買い物、デパート等でのイベントもよく見かけます。しかし、残念ながらお祝いをすることが目的ではありません。

現在、少子高齢化という問題があります。高齢者の方々と共存に関心をもつことが求められています。町全体はバリアフリー化が進み、高齢者の方々も少しは安心して外出ができるようになってきています。でも、これは施設にすぎません。本当に必要な支援は、私たちがもつ「こころのバリアフリー」ではないのでしょうか。足、目、耳、など以外にも認知症でお困りの方々も多くいます。本物の杖でなく、さりげなくできる思いやり溢れた「人間杖」として関わられるようになりたいと子供たちには考えてほしいです。

行事予定 9月

1	金	午前授業 安全指導(災害)
2	土	保護者会(全) いじめ防止授業地域公開講座2校時
3	日	
4	月	計測(6) 黙働清掃(始)
5	火	計測(5) 交通安全教室(2)
6	水	計測(3)
7	木	計測(2)
8	金	ブロック水泳(6) プール納め
9	土	
10	日	
11	月	避難訓練 計測(4)
12	火	
13	水	計測(み) 区小研
14	木	プラネタリウム(6) 計測(1)
15	金	委員会 黙働清掃(終)
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	プラネタリウム(4)
20	水	手賀の丘事前検診(み3・4)
21	木	月曜時程 手賀の丘宿泊教室(み3・4)
22	金	手賀の丘宿泊教室(み3・4)
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	ペア学年活動(奉仕活動)
26	火	社会科見学(4)
27	水	研究授業(午前授業 ※1年3組を除く)
28	木	
29	金	クラブ
30	土	

9月1日(月)登校日。午前授業で給食はありません。
 9月2日(土)土曜授業。2校時にいじめ防止授業地域公開講座を予定しております。
 また、保護者会も予定しております。
 9月8日(金)プール納め(体育館は工事のため、校庭で実施)を予定しております。